

## 函館港地方港湾審議会資料

「函館港の臨港地区の変更および分区指定について」

令和4年1月  
函館市港湾空港部

## 目 次

- ・ 函館港の臨港地区の変更および分区指定について . . . P 1 ~ 2
- ・ 臨港地区の変更および分区指定図 . . . P 3
- ・ 変更箇所拡大図 . . . P 4

## 函館港の臨港地区の変更および分区指定について

### (1) 主 旨

末広地区は、函館港港湾計画に基づき、港湾施設の整備のため公有水面埋立を行い、令和3年3月にしゅん功した地区である。

このたび、市街化区域および市街化調整区域への編入と用途地域の指定および廃止に併せ、港湾の適正かつ円滑な管理運営を図るため、臨港地区の指定および廃止とこれに伴う分区指定を行うものである。

### (2) 概 要

#### (ア) 変更箇所および変更面積

・末広地区 0.1ヘクタール拡大

0.0ヘクタール縮小

〔	変更前臨港地区面積	264.0ヘクタール	〕
	変更後臨港地区面積	264.1ヘクタール	

#### (イ) 分区指定







・末広地区 拡大部 商港区

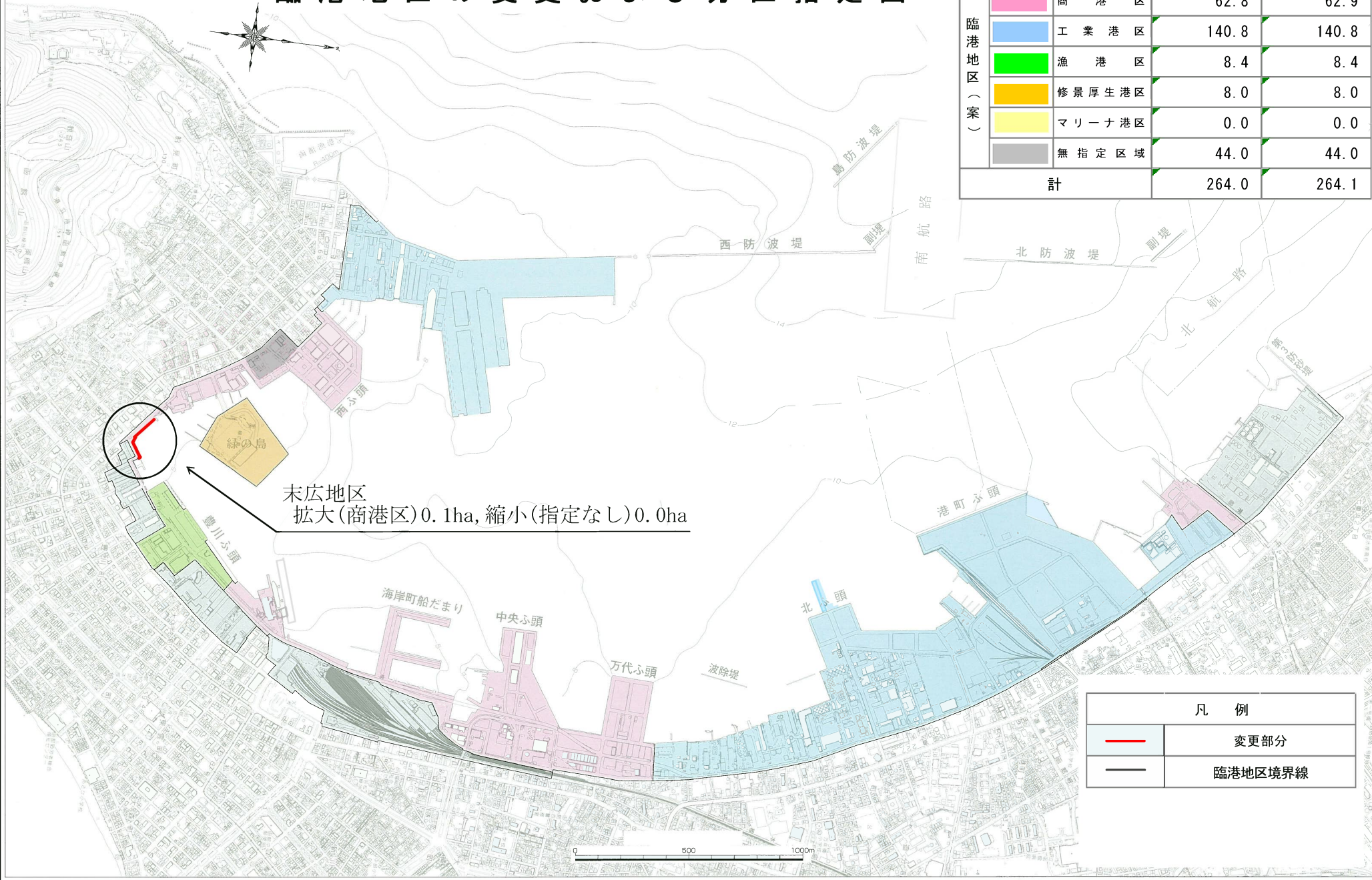
縮小部 指定なし

(3) 変更箇所別概要表



変更箇所名	変更の内容	予定分区	変更面積 (ha)	現況および変更理由
末広地区	①拡大	商港区	0.0 (約 204 m <sup>2</sup> )	<p>函館港港湾計画に基づき、港湾施設の整備のため公有水面埋立が行われた地区であり、令和3年3月にしゅん功したことから、市街化区域への編入に併せて臨港地区に指定し、港湾の適正かつ円滑な管理運営を図る。</p> <p>なお、分区については商港区とする。</p>
	②拡大	商港区	0.0 (約 159 m <sup>2</sup> )	
	③拡大	商港区	0.1 (約 507 m <sup>2</sup> )	
	④縮小	指定なし	0.0 (約 21 m <sup>2</sup> )	<p>函館港港湾計画に基づき、港湾施設の整備のため公有水面埋立が行われた地区であり、令和3年3月のしゅん功に伴い市街化調整区域に編入されることから、臨港地区を廃止する。</p>

# 臨港地区の変更および分区指定図

分区凡例		旧指定面積 (ha) (平成30年3月)	新指定面積 (案) (ha)
臨港地区 (案)	 商港区	62.8	62.9
	 工業港区	140.8	140.8
	 漁港区	8.4	8.4
	 修景厚生港区	8.0	8.0
	 マリーナ港区	0.0	0.0
	 無指定区域	44.0	44.0
計		264.0	264.1

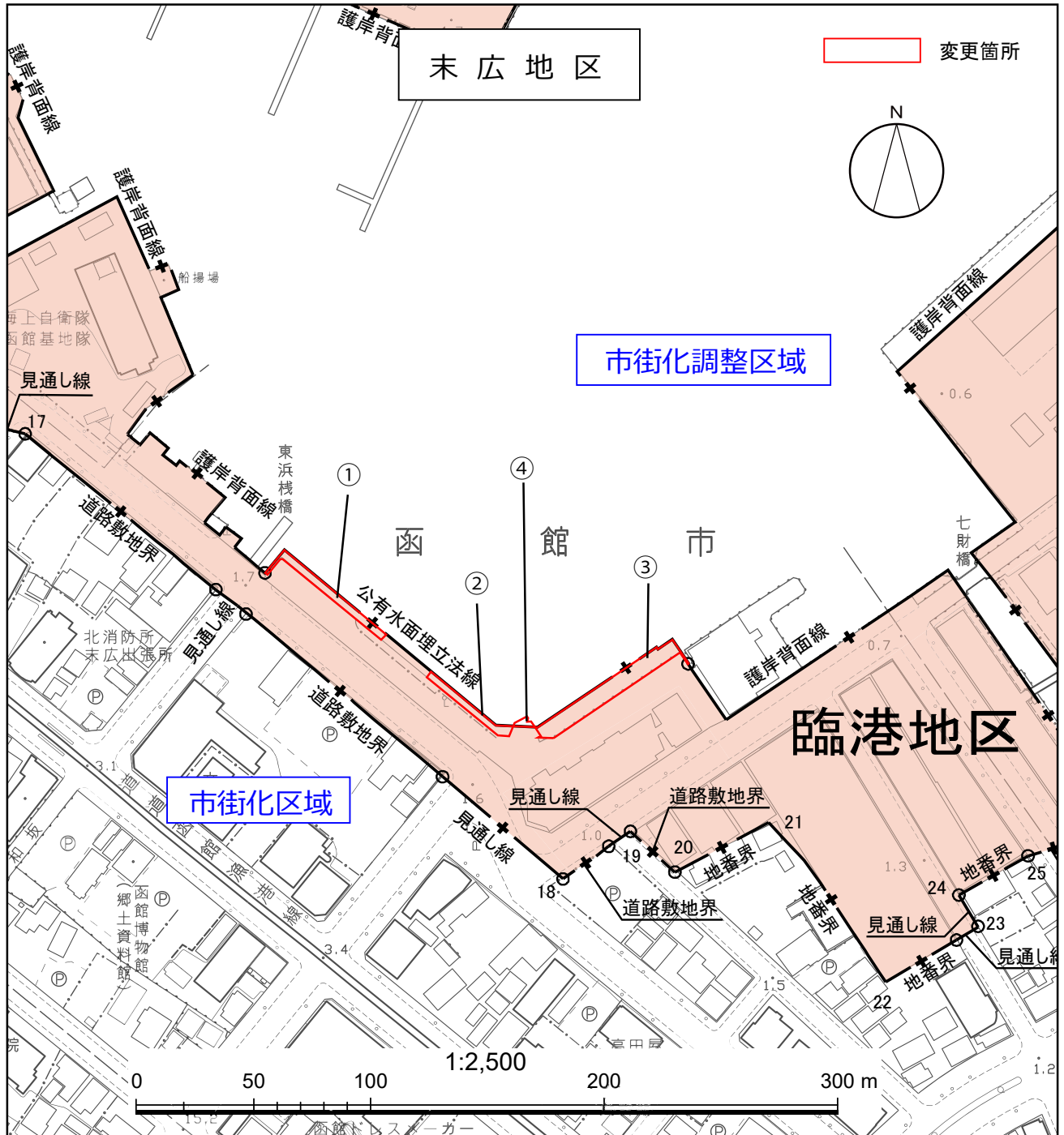


末広地区  
 拡大(商港区)0.1ha, 縮小(指定なし)0.0ha

凡例	
	変更部分
	臨港地区境界線



# 変更箇所拡大図



① 指定なし	→	臨港地区 (商港区)	0.0ha	(約 204㎡)
② 指定なし	→	臨港地区 (商港区)	0.0ha	(約 159㎡)
③ 指定なし	→	臨港地区 (商港区)	0.1ha	(約 507㎡)
④ 臨港地区 (商港区)	→	指定なし	0.0ha	(約 21㎡)